



蒲郡市老人クラブ連合会 蒲郡栄宝会

### 花看板で60周年をお祝い!

市民花いっぱい運動の一環として「蒲郡市の還暦を赤い花でお祝いしよう」と始動した花看板プロジェクト。蒲郡南駅前広場に、花で描くモザイクアートを設置します。

私たち蒲郡栄宝会は、全体で約340人で、普段はごりやく市への出展、本町公園の清掃活動などを行っています。今回は10人ほどが参加し、白ナデシコを種から植え、毎日、新井公園で世話をしています。

公園で育てていたなら、近所の方や公園に遊びに来た小学生なども手伝ってくれました。ナデシコは地域みんなに見守られ、きれいに育ちました。

今、普段の活動とは違う充実感を感じています。種から花が育つ

企画広報課 ☎66♦1145

のを見守っていると、子どもが育っていくような実感があり、パワーや愛をもらっていると感じます。

今回をきっかけに、来年50周年を迎える市老連の記念事業で花を育てる活動を行いたいと考えています。今から他団体にも声をかけ、育てた苗を配ったりして来年へつなげていきたいと思えます。

花看板プロジェクトは、いろんな方がさまざまな方法で関わって、ひとつの目標に向かって頑張っています。初めての挑戦ですが、素敵な看板を作り、皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

### 花看板プロジェクト

とき 11月9日(日)まで  
ところ 蒲郡南駅前広場

参加団体 蒲郡高等学校、尺地川・蛍の会、蒲郡市老人クラブ連合会蒲郡栄宝会、がまこおり花フル会、NPO法人楽笑、がまこおり若者サポートステーション、蒲郡国際交流協会多文化共生部会塩津教室、豊田東海警備グループ、蒲郡市観光協会、とつふねこ座、がまこおり市民まちづくりセンター ほか



学芸員 山中敦子  
生命の海科学館  
☎66♦1717

### 蒲郡の石ころさんぽ② 〜マグマの島〜

#### おいでん秋の竹島へ

青い空に、白くキラキラうるこ雲。さんぽが楽しいシーズンがようやく戻ってきましたね。お天気の日には、秋の竹島めぐりはいかがでしょう。遊歩道から少し海辺に下りて、足元に目を向けてみませんか?

#### 時の流れが削り出した島

長い間、波に洗われ風化してはいるものの、白・黒・グレーのツブツブした模様は、マグマからできた石の特徴です。およそ9千万年前の竹島は、地下に広がるマグマの一部だったので。ゆつくりと冷え固まって岩盤となった後、表面から徐々に浸食されて、今の姿になりました。

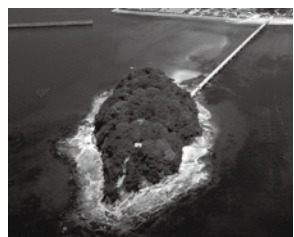
竹島八百富神社でお参りを済

ませたら、さあ島の南へ下りましょう。足元に目をやると、遙か昔の大地の動きを物語る光景が、いくつも目に入ります。その一つが岩の割れ目や断層、そしてそこに潜り込んだ別のマグマからできた岩脈です。白っぽいのっぺりとした岩の帯をたどると、ガーネットや雲母などの美しい色や形の鉱物に出会うこともあります。

また、遊歩道で橋のたもとに戻る間に、島を東西に貫く大きな黒い岩盤を横切ります。これもマグマが冷えてできた岩脈なのですが、周囲の石や岩脈とはマグマの種類が異なります。今のところ、どこからどのようにやってきて入り込んだのかは、よくわかっていないようです。

#### 石に刻まれた物語

積年の大地の活動が刻み込まれた、マグマの島。ダイナミックな歴史に想像の翼を広げてみれば、見慣れた美しい風景もちよっぴり違って見えて来るかも? 一味違う秋のおさんぽ、ぜひお試しくさ



蒲郡の北に広がる山々とは、石も歴史も大きく異なるマグマの島。恐竜時代のマグマのかたまりです。